

日本エネルギー環境教育学会第13回全国大会
会場・セッション配置

8/9 (木)	S会場 122 教室	A会場 123 教室	B会場 126 教室	C会場 127 教室	D会場 128 教室	E会場 124 教室	F会場 125 教室	休憩室 121 教室		
8:30	受付 (112 教室)							展示	休憩	
9:30		カリキュラム開発①	調査・評価①	授業実践①	教材開発①					
10:30	休憩									
10:40		カリキュラム開発②	調査・評価②	授業実践②	教材開発②					
12:00	昼食					理事会				
13:00	総会									
14:00	特別講演 基調講演									
16:00	パネル 討論会									
17:30										
18:00	情報交換会 (厚生会館)									
19:30										

8/10 (金)	S会場 122 教室	A会場 123 教室	B会場 126 教室	C会場 127 教室	D会場 128 教室	E会場 124 教室	F会場 125 教室	休憩室 121 教室		
8:30	受付 (112 教室)							展示	休憩	
9:30	授業実践③	授業実践⑤	授業実践⑦	教材開発③	調査・評価③	ワーク ショップ				
10:30	休憩									
10:40	授業実践④	授業実践⑥	授業実践⑧	普及活動①	調査・評価④	高校生発表				
12:00	国際交流 委員会	実践委員 会	昼食		編集委員 会	企画委員 会・広報委員 会				
12:20										
13:10	国際交流 委員会 企画 セッション									
14:40										

日本エネルギー環境教育学会第13回全国大会プログラム

会場：山形大学（小白川キャンパス）

注：発表時間 1題目20分（口頭発表15分・質疑応答5分）

8月9日（木）：研究発表1日目

S 会場	基調講演 特別講演	14:00～15:50		進行：今村哲史（山形大学）
		1S-01	環境と大地のエネルギー	横山孝男（山形大学名誉教授）
		1S-02	これからの我が国のエネルギー政策 ーエネルギー基本計画よりー	長谷川裕也（経済産業省 資源エネルギー庁）
	パネル討論会	16:00～17:30		コーディネーター：熊野善介（静岡大学）
		1S-03	地球に生きるー市民としてエネルギーとその利用を 考えていく教育活動	元木徹（山形大学附属小学校）
		1S-04	エネルギー教育モデル校としての実践 ー「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業 づくりー	平賀真人（新庄市立新庄中学校）
1S-05		深い学びにつなげるエネルギー 環境教育	庄司洋一（山形県立村山産業高等学校）	
	1S-06	エビデンスを基に未来のエネルギーと環境を創造 する教育の推進	小林俊行（東海大学）	

A 会場	カリキュラム開発①	9:30～10:30		座長：栢野彰秀（島根大学）
		1A-01	大阪市におけるエネルギー教育の実践と課題	羽川昌廣（大阪市立東粉浜小学校）
		1A-02	対話的な活動を取り入れたエネルギー環境教育の 実践 ーカリキュラムマネジメントの視点を意識した 放射線教育を例としてー	青木久美子（世田谷区立千歳中学校）
		1A-03	リスクコミュニケーションを軸としたエネルギー 環境教育の実践2	橋淳治（神戸学院大学）
	カリキュラム開発②	10:40～12:00		座長：出口 憲（常葉大学）
		1A-04	町内統一カリキュラムに基づくエネルギー環境教育の 推進 ～ エネルギー環境教育体験館「きいばす」 における体験を軸として～	木子雅之（美浜町立美浜東小学校）
		1A-05	地域の自然とエネルギー環境を活用した体験的学習 プログラムの開発と実践ー美浜町エネルギー環境 教育体験館との連携ー	浅原雅浩（福井大学）、風間寛司（福井大学）、三浦麻（福井大学）
1A-06		技術・家庭科技術分野を中心とし、教科内外との 連携を強化したエネルギー環境教育カリキュラム	河野卓也（天津市立志賀中学校）	
	1A-07	商業系大学におけるエネルギー環境教育への取 り組み	萩原豪（高崎商科大学）	

B 会場	調査・評価①	9:30～10:30		座長：八田章光（高知工科大学）
		1B-01	「自由研究」におけるエネルギー環境教育に関する 内容調査 ー理科に焦点を当ててー	中村俊哉（常葉大学）
		1B-02	石油は枯渇しないーシェール革命とEVシフトを どう考えるー	橋爪吉博（日本エネルギー経済研究所石油情報センター）
	1B-03	広島における原発再稼働に関する大学生の意識 ー エネルギー・環境分野の授業における試験結果等に 基づいてー	辻本政雄（大阪経済法科大学）	
	調査・評価②	10:40～12:00		座長：板橋夏樹（宮城学院女子大学）
1B-04		持続可能な開発目標（SDGs）と中学校におけるエ ネルギー環境教育	寺木秀一（新潟薬科大学）	
	1B-05	エネルギーリテラシー構造モデルの評価 ー日本と タイの中学生の統合サンプルからー	秋津裕（京都大学大学院エネルギー科学研究科）、石原慶一（京都大学大学院エネルギー科学研究科）	

	1B-06	メリノエネルギー博物館（トルコ、ブルサ）－ MERINOS ENERGY MUSEUM (BURSA, TURKEY)－	八田章光（高知工科大学）
	1B-07	WBGT 自動計測システムの製作	中村孝史（福井工業高等専門学校）、廣部まどか（福井工業高等専門学校）、藤田祐介（福井工業高等専門学校）

C 会場	授業実践①	9:30～10:30 座長：石川直彦（練馬区立関町小学校）		
		1C-01	共通教育科目「生活の中の熱とエネルギー」を受講した教員養成系学生の変容－レポートでの変容記述から見た受講前後の学習観の変容－	葛生伸（福井大学）
		1C-02	高等学校理科授業におけるカード型放射教育ツールの実践－情報カード「DUO×DUO（デュオデュオ）」を題材として－	山岡武邦（愛媛大学附属高等学校）
	1C-03	スマートグリッド模擬実験装置による学生実験の実施	下町健太郎（函館工業高等専門学校）、三島裕樹（函館工業高等専門学校）、村上敏朗（株NTT ファシリティーズ）	
	授業実践②	10:40～12:00 座長：清水洋一（琉球大学）		
		1C-04	エネルギー量の体感と変換効率を通してエネルギーの使い方について考える	寺島靖香（札幌市立北陽中学校）
		1C-05	中学校技術科におけるエネルギー環境教育を意識した「プログラムによる計測・制御」の実践	山口剛（札幌市立日章中学校）、近野秀樹（札幌市立あやめ野中学校）
		1C-06	風力エネルギーの変換についての見方・考え方の素地を育む	大塚晶紀（札幌市立藻岩小学校）
	1C-07	低炭素社会を目指したエネルギー環境教育の実践－中国地域及びハンガリーにおける取り組みを中心に－	田中春彦（中国地域エネルギー環境教育研究会）、宮下仁和（中国地域エネルギーフォーラム）	

D 会場	教材開発①	9:30～10:30 座長：東山禎夫（山形大学）		
		1D-01	Ichigojamによるプログラミング研修（教員編）	加藤進（近大高専）、米谷彰（ケニス株式会社）
		1D-02	新学習指導要領における放射線教育コンテンツ開発と安全管理－高性能ペルチェ冷却式霧箱の活用－	秋吉優史（大阪府立大学）
	1D-03	石炭業界の低炭素化への取り組み－持続可能な社会を支える石炭利用技術－	榭山直人（一般財団法人石炭エネルギーセンター）	
	教材開発②	10:40～12:00 座長：萱野貴広（静岡大学）		
		1D-04	プログラミングを活用したエネルギー環境教育教材の開発－新学習指導要領 小学校6年生「電気の利用」対応－	若松巧倫（ケニス株式会社）
		1D-05	持続可能性に関するSTEM教材の開発－アクアポニックスの利用－	坪田幸政（桜美林大学）、池田実央（アジアリンク）
1D-06		クルックス管から発生する放射線と教材開発	小鍛治優（永平寺町志比北小学校）、大磯真一（INSS）、内田聡子（福井大学）、田村圭介（福井大学）	
1D-07	リスク教育の基本情報Ⅶ 地層処分の人エバリア粘土の機能を教科で学ぶ	杉山憲一郎（北海道大学エネルギー教育研究会）		

8月10日(金): 研究発表2日目

S 会場	授業実践③	9:30~10:30 座長: 藤本 登(長崎大学)		
		2S-01	静岡大学と企業が連携・協働したエネルギー環境教育の実践とその分析	石川遥(静岡大学大学院教育学研究科)、熊野善介(静岡大学創造科学技術大学院)
		2S-02	理科専門でない小学校の教員を対象にしたエネルギー及び粒子分野の教員研修	中山慎也(出雲科学館, 出雲市立第一中学校, 九州大学総合研究博物館)
	2S-03	小学校4年生社会科高レベル放射性廃棄物の処分に関する授業研究-副読本の活用に着目して-	平岡信之(京都教育大学附属桃山小学校)、樋口万太郎(京都教育大学附属桃山小学校)	
	授業実践④	10:40~12:00 座長: 畑中敏伸(東邦大学)		
		2S-04	島根大学教育学部附属中学校における放射線教育(8)-高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する理科・社会科による授業実践-	栢野彰秀(島根大学教育学部)、大山朋江(島根大学教育学部附属中学校)、岡田昭彦(島根大学教育学部附属中学校)、野崎朝之(島根大学教育学部附属中学校)、園山裕之(島根大学教育学部附属中学校)、高橋里美(松枝市立第三中学校)、加来謙一(原子力発電環境整備機構)
		2S-05	島根大学教育学部附属中学校における放射線教育(9)-高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する授業の教員による評価-	大山朋江(島根大学教育学部附属中学校)、栢野彰秀(島根大学教育学部)、岡田昭彦(島根大学教育学部附属中学校)、野崎朝之(島根大学教育学部附属中学校)、園山裕之(島根大学教育学部附属中学校)、高橋里美(松枝市立第三中学校)、加来謙一(原子力発電環境整備機構)
2S-06		島根大学教育学部附属中学校における放射線教育(10)-簡易放射線測定器 GAMMA-SCOUT の特性及び授業場面での測定方法の提案-	山代一成(島根大学教職)、栢野彰秀(島根大学教育学部)、野崎朝之(島根大学教育学部附属中学校)、大山朋江(島根大学教育学部附属中学校)、園山裕之(島根大学教育学部附属中学校)、高橋里美(松枝市立第三中学校)	
2S-07	高レベル放射性廃棄物の地層処分の出前授業・理解活動に関する考察-島根大学教育学部附属中学校での理科・社会科の連携授業からの示唆-	加来謙一(原子力発電環境整備機構)、江崎久美子(原子力発電環境整備機構)、鈴木俊輔(原子力発電環境整備機構)		

A 会場	授業実践⑤	9:30~10:30 座長: 森山正樹(札幌市立白石中学校)		
		2A-01	中学生向け副教材「わたしたちのくらしとエネルギー」の授業活用-エネルギー教育モデル校の実践事例をもとにした授業づくり-	山本照久(加古川市教育委員会)
		2A-02	エネルギーについて自己判断力がもてる生徒の育成を目指して-エネルギー教育モデル校(日立市立助川中学校)としての取り組みから-	齋藤利行(日立市立日高中学校)
	2A-03	未来のエネルギー環境を自ら考え判断できる児童の育成~ものづくりや実験体験を通して~	江尻陽子(いわき市立中央台東小学校)、鈴木孝穂(いわき市立中央台東小学校)、石川哲夫(いわき明星大学)	
	授業実践⑥	10:40~12:00 座長: 山本照久(加古川市教育委員会)		
2A-04		原子力防災教育の普及に向けた考察	藤本登(長崎大学)	
2A-05	子どもと学ぶ地層処分-2030年のエネルギーミックスを考える-	永井一也(仙台市立南小泉小学校)、長岐彩(仙台市立南小泉小学校)、○佐藤久美(仙台市立南小泉小学校)、佐藤詩織(仙台市)		

			立南小泉小学校)、林祐毅(仙台市立東長町小学校)
	2A-06	「暮らしを支える電力についての考えを深める授業の1事例」～小学校「社会科」での実践～	古澤拓也(大分市立碩田学園)
	2A-07	都内区立小学校における出前授業3年間の実践報告	金島正治(日本大学理工学部理工学研究所)

B 会場	授業実践⑦	9:30~10:30 座長:葛生伸(福井大学)		
		2B-01	次世代交通政策に関する学習指導案の実践	島崎洋一(山梨大学)
		2B-02	沖縄の中学生を対象としたエネルギーに関する意識調査および授業実践	濱田栄作(琉球大学)、當眞正也(琉球大学)、清水洋一(琉球大学)、前川由梨乃(神森中学校)
	2B-03	再生可能エネルギーを利用して、環境保全に全力で取り組む「一製作活動を通して創造力と地域貢献の精神を学ぶ」	古川武房(山形県立酒田光陵高等学校)	
	授業実践⑧	10:40~12:20 座長:郡司賀透(静岡大学)		
		2B-04	1時間でも展開できるエネルギー環境教育の実践-算数の問題解決を通して環境について考える-	石川直彦(練馬区立関町小学校)
		2B-05	子どもが根拠を持って最良解・最適解を探す活動~6年「15年後の電源構成を考える」より~	富田雄介(札幌市立幌北小学校)、杉野さち子(札幌市円山小学校)、平田文夫(北大エネルギー教育研究会)、三木直輝(北大エネルギー教育研究会)
		2B-06	中学校理科の集大成として、未来を創造する資質・能力を育成する授業実践-アーギュメントによる学び合いを通して、2030年の北海道の電源構成を考える-	森山正樹(札幌市立白石中学校)、佐藤深(札幌市立北栄中学校)、芳賀大二郎(札幌市立屯田北中学校)
		2B-07	総合的・多角的に物事を判断する資質・能力を育む授業実践-中2理科「電流の性質とその利用」における白熱電球とLED電球を用いた実験を通して-	芳賀大二郎(札幌市立屯田北中学校)、佐藤深(札幌市立北栄中学校)、森山正樹(札幌市立白石中学校)
	2B-08	福井高専電気電子工学科におけるエネルギー教育	米田知晃(福井工業高等専門学校)、荒川正和(福井工業高等専門学校)、丸山晃生(福井工業高等専門学校)、松浦徹(福井工業高等専門学校)、西城理志(福井工業高等専門学校)、堀川隼世(福井工業高等専門学校)、中村孝史(福井工業高等専門学校)、久保杏奈(福井工業高等専門学校)	

C 会場	教材開発③	9:30~10:30 座長:田中稲子(横浜国立大学)		
		2C-01	新聞の社説から読み解く原子力諸問題に関する社会的論点の検討	村吉範彦(京都大学大学院エネルギー科学研究科)、森下和功(京大工能理工研)
		2C-02	エネルギー教育モデル校としての取組	八日市律子(京都市立西京高等学校附属中学校)
	2C-03	エネルギー利用の変化を扱う家庭科の指導	平野江美(奈良教育大学附属小学校)、榊原典子(京都教育大学)、山下宏文(京都教育大学)	
	普及活動①	10:40~12:20 座長:妹尾理子(香川大学)		
2C-04		群馬県における小水力発電の現状と展開の可能性-再生可能エネルギーの活用による持続可能な地域づくりを目指して-	茂木八千代(Y-プランニング)、萩原豪(高崎商科大学)	
2C-05	次世代層への環境・エネルギーに係る“出前授業”の取組み-日本原電 敦賀事業本部の活動報告(その2)-	神谷昌伸(日本原子力発電(株)地域共生・広報室)、松葉憲明(日本原子力発電(株)敦賀事業本部)、池田龍子(日本原子力発電(株)敦賀事業本部)、森文男(日本原子力発電(株)敦賀事業本部)、磯部昌美(日本原子力発電(株)敦賀事業本部)		

			電(株)敦賀事業本部)、田辺かおり(日本原子力発電(株)敦賀事業本部)、柴原 俊行(日本原子力発電(株)敦賀事業本部)、桑室直俊(日本原子力発電(株)敦賀事業本部)
	2C-06	福井理科教育研究会の取り組みー放射線学習絵本英語版の作成ー	大磯眞一(原子力安全システム研究所)、小鍛冶優(志比北小学校)、葛生伸(福井大学)
	2C-07	各世代に合わせたエネルギー環境教育イベントの実施とその評価	大野豊(美浜町エネルギー環境教育体験館)、浅原雅浩(福井大学)
	2C-08	高レベル放射性廃棄物の処分問題に係る出前授業の取り組みー授業内容とアンケートの分析、学習支援事業についてー	江崎久美子(原子力発電環境整備機構)、加来謙一(原子力発電環境整備機構)、鈴木俊輔(原子力発電環境整備機構)

D 会場	調査・評価③	9:30~10:30		座長:寺木秀一(新潟薬科大学)
		2D-01	中学校生徒の放射線に関する認識の実態調査ー第3学年「科学技術と人間」の授業を通してー	今村哲史(山形大学)、佐藤 晴那(東根市役所)、大沼 康平(山形大学附属中学校)
		2D-02	つながり感と省エネ行動意図との関連に関する比較分析	中村洋(地球・人間環境フォーラム)
		2D-03	エネルギーミックスに対する大学生の認識比較	萱野貴広(静岡大学)、清水洋一(琉球大学)、濱田栄作(琉球大学)、安藤雅之(常葉大学)
	調査・評価④	10:40~12:00		座長:島崎洋一(山梨大学)
		2D-04	新学習指導要領に基づく高等学校教科書のエネルギー・環境・原子力・放射線関連記述の調査と提言	工藤和彦(九州大学)、松永一郎(SNW)、若杉和彦(SNW)
		2D-05	エネルギー・原子力に関する学生の意識調査結果~学生とシニアの対話の事後アンケートの解析~	松永一郎(SNW)、若杉和彦(SNW)
		2D-06	エネルギー・原子力に関する小中高校教員とシニアの対話会ー鹿児島県社会科を元気にする会ー	若杉和彦(SNW)、工藤和彦(九州大学)、山下信久(鹿児島県社会科を元気にする会会長)
		2D-07	文科系学生の原子力発電所見聞録ーシニアと学生との対話会ー	大野崇(SNW)、松永一郎(SNW)、若杉和彦(SNW)

E 会場	ワークショップ	9:30~10:50	
		2W-01	<p>“誰がなぜゲーム”で考える地層処分場の決定権：NIMBY 施設をめぐる地元・識者・国民・政府による直接討議の模擬体験</p>

E 会場	高校生発表	11:00~12:00		進行：庄司洋一（村山産業高校）
		2E-01	<p>高校生による地域でのエネルギー環境教育 — 教えることが自分の知識を豊かにする —</p>	<p>○奥山裕翔（山形県立村山産業高等学校）、安藤海里（山形県立村山産業高等学校）、齋藤寿成、佐藤翔生（山形県立村山産業高等学校）、高橋裕太郎（山形県立村山産業高等学校）、鶴巻諒人（山形県立村山産業高等学校） 庄司洋一（山形県立村山産業高等学校）</p>
		2E-02	<p>山工元気プロジェクトⅡー山形工業高校におけるエネルギー環境教育の取り組みー</p>	<p>○丹野大雅（山形県立山形工業高等学校）、○樋田枝織璃（山形県立山形工業高等学校）、○工藤蓮都（山形県立山形工業高等学校） ○前田翔（山形県立山形工業高等学校）</p>

S 会場	国際交流委員会企画セッション	13:10~14:40		進行：高木浩一（岩手大学）
		2I-01	<p>科学教育における STEM 教育としてのエネルギー環境教育 —オーストラリアとアメリカの STEM 教材の調査よりー</p>	畑中敏伸（東邦大学）
		2I-02	<p>Energy Content Knowledge and STEM Conceptualization: A Comparison of Preservice Science Teachers in Indonesia and Japan</p>	Pramudya Putra（Shizuoka university）、熊野善介（静岡大学）
		2I-03	<p>Why Energy Literacy Should Be Priority for Pre-service Science Teacher in Japan and Indonesia</p>	Nurul Sulaeman（Graduate School of Science Technology and Informatics Shizuoka University）、熊野善介（静岡大学）
		2I-04	<p>高専・高校における工学・科学教育での国際連携</p>	高木浩一（岩手大学）

**日本エネルギー環境教育学会第13回全国大会
一般講演会場・時間・セッション名・座長一覧**

	S会場 122教室	A会場 123教室	B会場 126教室	C会場 127教室	D会場 128教室	E会場 124教室	F会場 125教室
8/9 (木)		9:30~10:30 カリキュラム開発① 栢野彰秀 (島根大学)	9:30~10:30 調査・評価① 八田章光 (高知工科大学)	9:30~10:30 授業実践① 石川直彦 (関町小学校)	9:30~10:30 教材開発① 東山禎夫 (山形大学)		9:30~:12:00 展示
		10:40~12:00 カリキュラム開発② 出口 憲 (常葉大学)	10:40~12:00 調査・評価② 板橋夏樹 (宮城学院女子大)	10:40~12:00 授業実践② 清水洋一 (琉球大学)	10:40~12:00 教材開発② 萱野貴広 (静岡大学)		
	12:00~13:00 昼食					12:05~12:50 理事会	12:00~13:00 昼食
	13:10~13:45 総会						13:00~17:00 展示
	14:00~15:50 特別講演 基調講演 今村哲史 (山形大)						
	16:00~17:30 パネル討論会 熊野善介 (静岡大)						
	18:00~20:00 情報交換会						

	S会場 122教室	A会場 123教室	B会場 126教室	C会場 127教室	D会場 128教室	E会場 124教室	F会場 125教室
8/10 (金)	9:30~10:30 授業実践③ 藤本 登 (長崎大学)	9:30~10:30 授業実践⑤ 森山正樹 (白石中学校)	9:30~10:30 授業実践⑦ 葛生 伸 (福井大学)	9:30~10:30 教材開発③ 田中稲子 (横浜国立大学)	9:30~10:30 調査・評価③ 寺木秀一 (新潟薬科大学)	9:30~10:50 ワークショップ	9:30~:14:00 展示
	10:40~12:00 授業実践④ 畑中敏伸 (東邦大学)	10:40~12:00 授業実践⑥ 山本照久 (加古川市教委)	10:40~12:20 授業実践⑧ 郡司賀透 (静岡大学)	10:40~12:20 普及活動① 妹尾理子 (香川大)	10:40~12:00 調査・評価④ 島崎洋一 (山梨大学)		
	12:00~13:00 国際交流委員会	12:00~13:0 実践委員会		12:20~13:10 昼食		12:00~13:0 編集委員会	12:00~13:0 企画委員会 広報委員会
	13:10~14:40 国際交流委員会セッション 高木浩一 (岩手大)						

参加者へのお願い

- ・会場では、受付でお渡しした名札（兼参加証）を必ず着用してください。
- ・エアコンの温度を高めに変更しておりますので、クールビズなど軽装での参加をお願いします。
- ・休憩や昼食のため2階に休憩室（121 教室）を用意しております。簡単な飲み物等も準備しておりますのでご利用下さい。なお、整理整頓、ごみの回収等にご協力をお願いいたします。
- ・喫煙は、決められた喫煙所（基盤教育1号館北側駐車場側）をご利用下さい。
- ・公共交通機関をご利用下さい。学会開催期間中、会場駐車場は原則ご利用できません。

その他

- (1) 昼食等： 大会開催期間中、昼食時間には、山形大学生協・学生食堂、厚生会館食堂が開いています。
また山形大学生協のコンビニ、近隣の食堂及びコンビニ等をご利用下さい。
- (2) アクセス： 会場へのアクセスは山形大学地域教育文化学部ホームページ [交通アクセス] をご覧下さい。
(<http://www.e.yamagata-u.ac.jp/access.html>)
- (3) 山形県内の宿泊施設、交通アクセス、食事・観光等の情報については、下記の山形コンベンションビューローのホームページより検索されると便利です。
山形コンベンションビューロー：<http://www.convention.or.jp>
 - ・山形コンベンションビューロー公式アプリ（無料）「やまがたMICEなび」：
http://www.convention.or.jp/app_mice/
 - ・宿泊施設：<http://www.convention.or.jp/syukuhaku/>

口頭発表要領

- ・「研究発表」のすべての発表会場で使用できる機器は、液晶プロジェクタとスクリーンのみです。
- ・コンピュータは、セキュリティ上のトラブルおよび個人情報漏洩の未然防止のため、大会事務局では用意しておりません。
- ・コンピュータと液晶プロジェクタをつなぐケーブルは、VGA 使用（D-SUB15 ピン）です。HDMI 等の出力端子のコンピュータや Mac（iPad を含む）、Microsoft Surface、タブレット、ミニノート等のご使用の場合は、発表者ご自身で VGA 変換アダプタをご準備ください。ソフトウェアのバージョン（PowerPoint、Acrobat、Word 等）により、表示がずれる場合がありますので、発表会場にて事前にご確認をお願いいたします。
- ・コンピュータから音声を出力する場合も、発表者ご自身でスピーカーをご準備ください。

発表時間の厳守

発表時間

- ・講演 15 分＋質疑応答 5 分（交替時間を含む）
- ・質疑応答中、次の発表者は前に移動し、発表準備をお願いいたします。
- ・時間厳守をお願いいたします。

【座長にお願い】

- ・質疑応答を含め、20 分以内をお願いいたします。20 分以上を経過した場合は、発表途中でも打ち切ってください。

平成30年度 日本エネルギー環境教育学会 第13回全国大会のご案内（第2次案内）

テーマ：『次世代の地域や社会を展望するエネルギー環境教育』

日時：平成30年 8月 8日（水）～ 8月10日（金）

8月8日（水）… エクスカーション

9日（木）… 研究発表、特別講演、基調講演、パネル討論会、情報交換会、展示

10日（金）… 研究発表、ワークショップ、国際交流委員会企画、展示

会場：山形大学小白川キャンパス 基盤教育1号館（〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12）

特別講演：『環境と大地のエネルギー』

横山孝男 氏（山形大学・名誉教授）

基調講演：『これからのエネルギー政策について』

長谷川 裕也 氏

（経済産業省 資源エネルギー庁長官官房総務課 国際室長兼需給政策室長兼調査広報室長）

パネル討論会：『次世代の地域や社会を展望するエネルギー環境教育

— 新学習指導要領の考えを踏まえて — 』

コーディネーター：熊野善介 氏（静岡大学・教授）

パネリスト：元木 徹 氏（山形大学附属小学校・教諭）

平賀真人 氏（新庄市立新庄中学校・教諭）

庄司洋一 氏（山形県立村山産業高等学校・教諭）

小林俊行 氏（東海大学・教授）

情報交換会：山形大学小白川キャンパス内・厚生会館1F 参加費：4,000円

エクスカーション：やまがた県内のエネルギー関連施設の視察（参加費：無料）

大会参加費：一般・団体会員：早期割引 4,000円、通常 5,000円

一般非会員：早期割引 5,000円、通常 6,000円

学生：2,000円

山形県の学校教員（学会員を含む）：3,000円

早期割引は、7月23日（月）までのお振り込みを完了した方のみが対象です。

主催：日本エネルギー環境教育学会（JAEED）

後援：文部科学省、経済産業省、環境省、日本エネルギー学会、環境科学会、日本原子力学会、

電気事業連合会、山形県、山形コンベンションビューロー、

山形県教育委員会、山形市教育委員会、山形大学

大会事務局（実行委員会）：〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 山形大学地域教育文化学部内

平成30年度 日本エネルギー環境教育学会 第13回全国大会

E-mail：jaeed13@e.yamagata-u.ac.jp（大会実行委員会事務局）

TEL/FAX：023-628-4426（今村哲史）

学会事務局：〒102-0084 東京都千代田区二番町1-2-612

新・エネルギー環境教育情報センター内

日本エネルギー環境教育学会事務局（担当：堤 圭司）

TEL：03-6268-9103 Fax：03-6268-9107

E-mail：jaeed@jaeed.jp

会場アクセスマップ

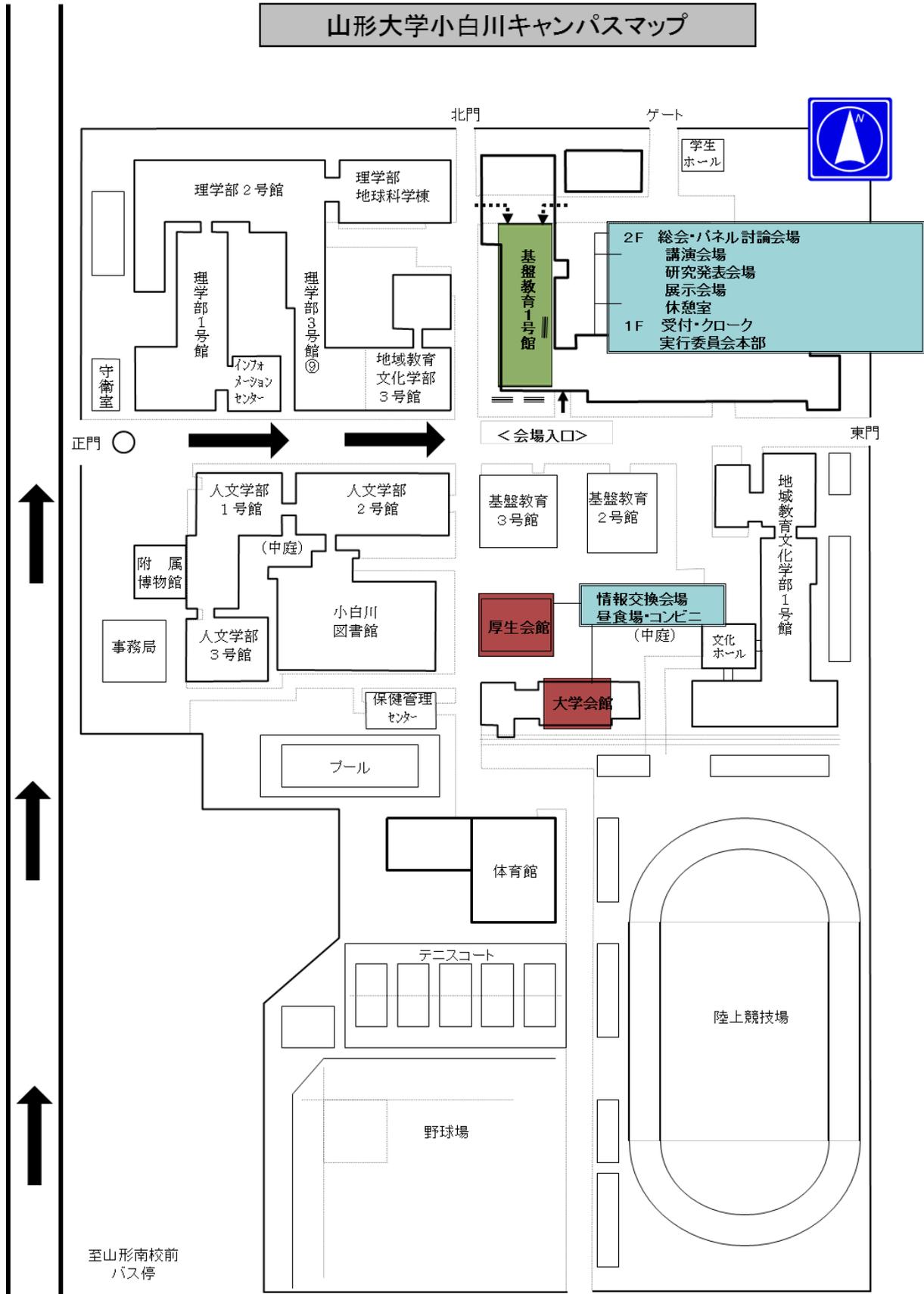
【 山形大学小白川キャンパス 】 (〒990-8560 山形市小白川町 1-4-12)



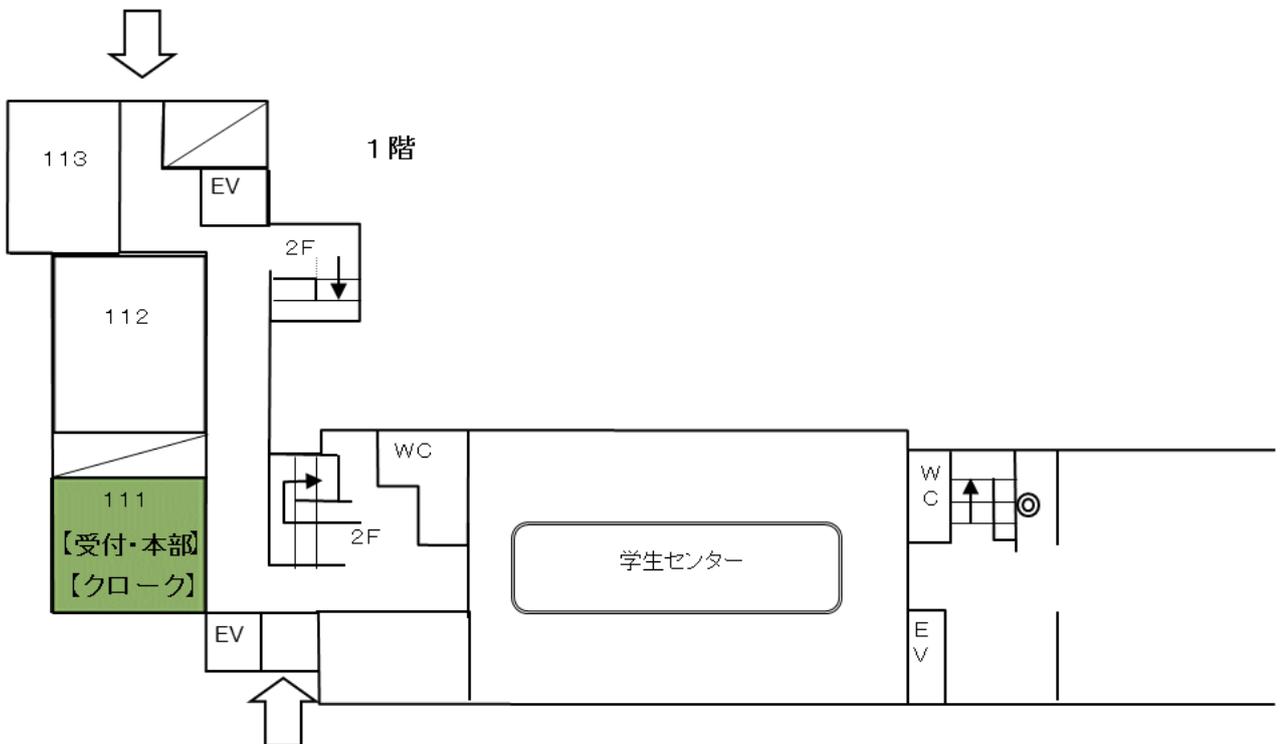
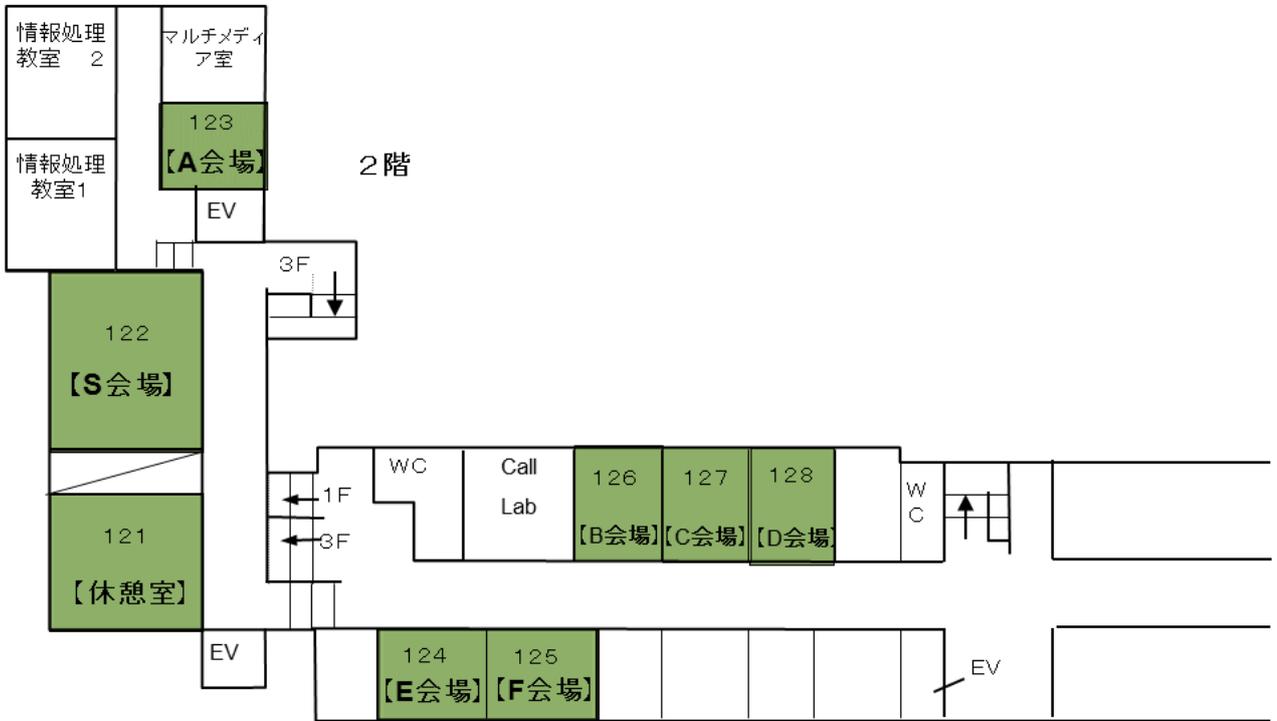
【 山形大学・校内図 】



会場構内・館内マップ



基盤教育 1号館



協賛・広告・展示

協賛

電気事業連合会
石油連盟
一般社団法人日本ガス協会
一般財団法人石炭エネルギーセンター

広告

一般社団法人日本ガス協会
一般社団法人日本電気協会（電気新聞）
日本 LP ガス団体協議会
石油連盟
公益財団法人日本科学技術振興財団
（株）新興出版社 啓林館
大日本図書株式会社
東京書籍株式会社
ケニス株式会社

展示

電気事業連合会
石油連盟
一般社団法人日本ガス協会
一般財団法人石炭エネルギーセンター
一般社団法人日本電気協会（電気新聞）
日本 LP ガス団体協議会
公益財団法人日本科学技術振興財団
原子力発電環境整備機構
ケニス株式会社
NPO 法人放射線教育フォーラム

エクスカージョンについて

1. テーマ：『山形版・地域の暮らしとエネルギー』

山形県村山地域にある、山形ならではの3つのエネルギー関連施設を見学します。

(1) 日時：平成30年8月8日(水) 12:10~17:30

(2) 定員：40名(参加費：無料)

(3) 集合場所：山形駅西口(※右図の通り)

2. スケジュール・行程(予定)

12:10 までに JR山形駅西口 集合/受付・出欠確認

12:15~13:05 JR山形駅西口 発 → [移動]

(*注意：予定通りに出発します)

13:05~13:30 JAみちのく村山 村山営農センター 見学

13:30~14:00 [移動]

14:00~15:20 (株)山本製作所 東根事業所 見学

15:20~16:10 [移動]

16:10~16:40 (株)東北電力・水が瀬ダム及び発電所 見学

16:40~17:30 [移動]

17:30 JR山形駅西口 着/解散 ※道路状況等により多少時間が変わることがあります。



3. 見学施設の概要

(1) JAみちのく村山 村山営農センター(村山市)

山形県村山地方は、昔から大変な豪雪地帯で、2mにもなる積雪に地域の住民は悩まされ続けてきました。その悩みの雪を利用する知恵が「雪室」です。秋に収穫された極上規格の「つや姫」を国内最大の規模の「冷蔵雪室倉庫」に大切に貯蔵しています。他の保管施設に比べ、きわめて省エネルギーで環境に優しい保管方法です。雪室倉庫内は、温度約5℃、湿度約75%に保たれ、お米を最適な環境で保管しています。



(2) (株)山本製作所 東根事業所(東根市)

山本製作所は、「農業を大切にすることは、地球を大切にすること」をスローガンに掲げ、農業・食品加工・環境関連機器メーカーです。敷地内にある太陽光発電設備は1.9メガワットを発電し、木質ペレットストーブの製作やごみ排出ゼロ(ゼロエミッション)に取り組む工場の見学会も行っています。「ものづくり」企業として製品はもちろん、再生可能エネルギーの導入推進などの学習を支援しています。(山形県環境学習支援団体/平成26年認定)



(3) (株)東北電力 水が瀬ダム及び発電所(西川町)

上流にある本道寺発電所の逆調整池として設けられたダムと発電所です。(山形県環境学習支援団体/平成16年認定)



4. その他(諸連絡)

原則として昼食は各自済ませてから集合して下さい。また、飲み物等は各自ご用意下さい。

なお、当日の緊急連絡先は、7月末に参加申込み者に連絡いたします。